

教科名	理科	科目名	生物基礎	単位数	2	対象	第2学年
担当者	本間秀明						
使用教科書			使用教材			年間授業時数	
高等学校 生物基礎 【生基705】 (啓林館)			プリント (オリジナル) 教科書・指導書付属の動画 等			78	
学期	月	指導内容		指導目標		時数	
1 学 期	4	生物がもつ特徴		生物が持つ特徴を、その多様性と共通性から理解させる		28	
	5	細胞と生物、細胞の構造		生物の重要な共通性の1つである細胞について、その構造を確認させる			
	6	代謝とエネルギー、代謝と酵素、光合成と呼吸		代謝について、ATPや酵素のかかわりを理解させ、同化・以下の代表例として光合成と呼吸についても理解させる。			
	7	期末考査と補充指導		期末考査で習熟度をしらべ、その状況に応じた補充指導を行う			
2 学 期	9	遺伝子と遺伝の法則、DNAの構造		遺伝物質がDNAであること、および、DNAが二重らせん構造の分子を持つことを理解させる。		30	
	10	DNAの複製、遺伝情報の分配		DNAが半保存的複製をすること、および、細胞周期と、それに伴う、遺伝情報の複製・分配を理解させる。			
	11	遺伝情報とタンパク質の合成、体液と恒常性		セントラルドグマについて理解させる。 体内環境としての体液、恒常性について理解させる			
	12	期末考査と補充指導		期末考査で習熟度をしらべ、その状況に応じた補充指導を行う			
3 学 期	1	自律神経と恒常性、内分泌系、体内環境の維持のしくみ、免疫		自律神経系と内分泌系の連携による恒常性の維持のしくみを理解させ、また、免疫系のしくみを理解させる		20	
	2	植生と遷移、生態系とその保全		植生と遷移、生態系について理解させ、その保全について			
	3	学年末考査と補充指導		学年末考査で習熟度をしらべ、その状況に応じた補充指導を行う			
評価の観点		趣 旨				評価の方法	
知識・技能		基礎野的な用語、知識が身についているか				定期考査、小テスト 等	
思考・判断・表現		論理的な思考・判断ができているか。また、自らの考えを論理的に、適切な方法・言葉遣いで表現できるか。				実験レポート、映像鑑賞記録レポート、授業中の取り組み状況、授業プリントの提出状況及び内容、定期考査、小テスト 等	
主体的に学習に取り組む態度		与えられた指示や課題に対してまじめに取り組んでいるか、さらに、自ら積極的に、学習に取り組んでいるか。				授業中の取り組み状況、授業プリントの提出状況及び内容、定期考査、小テスト 等	